

令和 7 年度 初心者向けスマホ教室の実績報告

1 実施内容

- (1) 実施期間：令和 7 年 10 月 3 日(金)～令和 7 年 12 月 14 日 (日)
- (2) 実施場所：各地区まちづくりセンター 23 か所
※原田、神戸、吉永北まちづくりセンターは除く
- (3) 内 容：Wi-Fi の接続方法、QR コードの読み取り方法、アプリケーションの追加方法、「防災ふじ」について、富士市が提供しているアプリと便利ツールの紹介、インターネット検索方法、カメラ機能を使って綺麗に写真を撮影する方法、LINE の使い方、個別相談会、ネットトラブルと特殊詐欺被害防止講習 など
- (4) 講師等：
■講師 兼 サポーター(計 13 名、内訳：1 年生 2 名、2 年生 1 名、3 年生 6 名、4 年生 4 名)
■サポーター(計 9 名、内訳：1 年生 5 名、2 年生 0 名、3 年生 3 名、4 年生 1 名)
- (5) 機 材：ポケット Wi-Fi 5 台 (ソフトバンク株式会社様より無料貸与)、パソコン、プロジェクター等

2 各教室の参加者数について

※各教室定員 8 名

※事前キャンセル 15 名、当日キャンセル 12 名

開催場所		申込 状況	参加人数	実施日
1	吉原まちづくりセンター	8	7	10/3
2	今泉まちづくりセンター	8	6	10/3
3	鷹岡まちづくりセンター	6	4	10/5
4	大淵まちづくりセンター	8	6	10/5
5	松野まちづくりセンター	5	5	10/11
6	富士川まちづくりセンター	8	5	10/11
7	富士駅北まちづくりセンター	8	8	10/17
8	富士南まちづくりセンター	8	8	10/17
9	神戸まちづくりセンター			
10	吉永北まちづくりセンター			
11	田子浦まちづくりセンター	8	8	10/24
12	元吉原まちづくりセンター	8	7	10/24

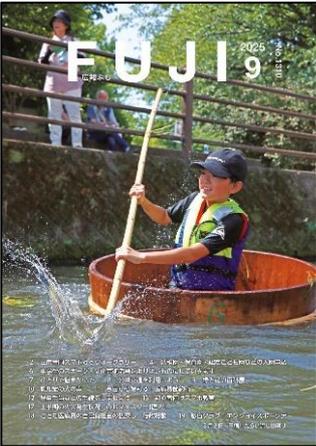
13	岩松北まちづくりセンター	8	7	10/31
14	岩松まちづくりセンター	7	6	10/31
15	浮島まちづくりセンター	4	3	11/7
16	須津まちづくりセンター	5	4	11/7
17	富士北まちづくりセンター	8	8	11/9
18	伝法まちづくりセンター	8	6	11/9
19	丘まちづくりセンター	7	6	11/29
20	天間まちづくりセンター	8	8	11/29
21	富士駅南まちづくりセンター(AM)	10	8	12/6
22	富士駅南まちづくりセンター(PM)	9	7	12/6
23	吉永まちづくりセンター	8	7	12/12
24	富士見台まちづくりセンター	6	5	12/12
25	広見まちづくりセンター	9	6	12/14
26	青葉台まちづくりセンター	10	10	12/14
	合計	182	155	

- 昨年度は各会場で二回(基礎講座と応用講座)を実施したが、今年度から一回の実施のみとさせていただきます。
- 改修工事中原田まちづくりセンターを除く 25 か所の会場で実施予定だったが、10月18日に実施予定だった、神戸まちづくりセンターと吉永北まちづくりセンターの教室を参加申込状況を踏まえ、中止にした。
- 所用や体調不良により欠席者が多い会場もあった。

3 広報

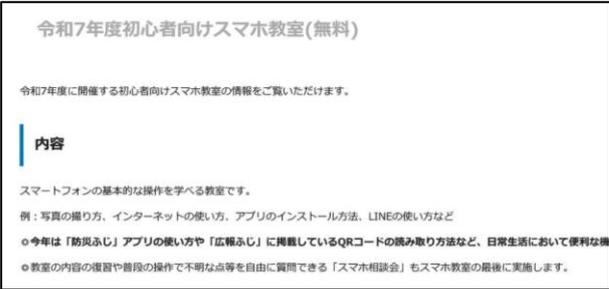
(1) 広報ふじ9月号

広報ふじ9月号の13ページに募集記事を掲載し、全戸配布。



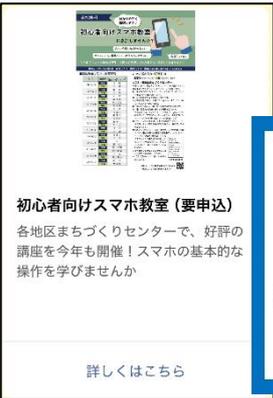
(2) 富士市ウェブサイト等への掲載及び全まちづくりセンターへポスター掲示

富士市のウェブサイトへ初心者向けスマホ教室の情報を掲載するとともに、まちづくりセンターに広報ふじと同じデザインのポスターを掲示。



(3) 富士市公式 SNS で配信

富士市公式 SNS(LINE、X、Facebook) で配信。
X と Facebook については追加で配信した。



(4) 新聞

富士ニュース、静岡新聞にて募集記事を掲載。
富士ニュースは、スマホ教室の中盤(11月18日)にも再周知してくれた。



(5) 庁内職員に周知

庁内の職員に知り合いへの声掛けを依頼。
富士市高齢者支援課や地域保健課にチラシの配布依頼。

4 教室の状況

■申込状況について

令和3年度から実施している本事業は今年で5回目ということもあり、申込開始時は応募が少なく、定員を満たさない教室が多くあった。抽選時に、吉永北まちづくりセンターが0人となってしまったため、10月18日(神戸、吉永北まちづくりセンター)は中止とさせていただいた(第一希望で神戸まちづくりセンターを希望した申込者については、第二希望または第三希望に振り分けた)。しかしながら、申込締切後も、申し込みがあった場合は先着順で受け入れ、様々な媒体で再周知を行ったことで、24会場(原田、神戸、吉永北まちづくりセンターを除く)で182名の方に応募いただいた(定員192名)。

「申込段階では数か月先の予定が分からない」という声もあるため、来年度も本事業を実施する場合は、引き続き申込締切後も先着順での受け入れと再周知は継続的に行い、人口が少なく、例年申込数が少ないまちづくりセンターは、なるべく広報日と近い日程で開催するなど対応したい。

■教室の様子について

今年も学生の方々、キャリアドライブの方々参加者の質問に対して丁寧に対応してくれたため、参加者の満足度が高かった。

教室の運営について、会場の準備から終了に至るまで、昨年度の経験者が中心になって動いてくれたため、滞りなく進めることができた。

教室の内容について、今年は例年よりも、日常生活において便利な情報や富士市に関する情報を中心にしたことで、リピーターの参加者も飽きない内容にすることができた。一方で「もっと相談会の時間が欲しい」という意見があったため、来年度も本事業を実施する場合は、相談会の時間を多く設けるなど、対応したい。

学生の様子について、本事業を通じて、学生同士が楽しそうに話をしているのがとても嬉しかった。各日程によって従事する学生は違うが、学部・学年を超えて、休み時間に話をし、教室開催中は学生同士で連携して進めてくれていた。

5 初日の報道提供

10月5日付 富士ニュース→

↓10月4日付 静岡新聞 DIGITAL web

スマホでネット検索してみよう 富士市で大学生が使い方指導 12月まで計24回

2025/10/04 06:04

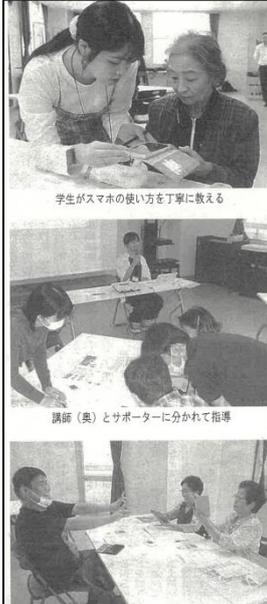
富士支局 杉山 諭

記事をクリック

富士市デジタル活用環境構築推進協議会主催の初心者向けスマホ教室が3日、始まった。静岡英和学院大(静岡市駿河区)の学生がスマートフォンの使い方を伝える。富士市内の各地区を会場に12月14日まで、計24回開講する。吉原地区まちづくりセンターでの教室には、高齢者ら7人が参加し、インターネット検索や写真撮影、

学生が使い方指導

23地区でスマホ教室 富士市



富士市や民間企業、まちづくりセンターで教育機関で組織する富士市デジタル活用環境構築推進協議会が3日、12月まで市内23地区で実施する予定で、高齢者を中心とした初心者向けスマホ教室の初日を吉原地区まちづくりセンターで開講した。この日は、同協議会の委員で、ある静岡英和学院大の学生が講師やポーターとなり、初歩から丁寧にスマートフォンを使い方を教える。代後半から約15分、0人が受講し、約15人が参加、QRコードの読み取り方やアプリのインストール、メールの操作などを学んだ。

講師が主体的な説明をしながら、参加者が分からない箇所を見ながら、丁寧に指導している。QRコードを読み取る方法や、メールのやり取りの方法などを教える。この日は、同協議会の委員で、ある静岡英和学院大の学生が講師やポーターとなり、初歩から丁寧にスマートフォンを使い方を教える。代後半から約15分、0人が受講し、約15人が参加、QRコードの読み取り方やアプリのインストール、メールの操作などを学んだ。